

■ 編集後記

開学60周年にあたる今年度の入学式が4月12日、大学院入学式が13日にそれぞれ大堀学長の式辞の下で厳かに行われたが、その翌日に編集後記の依頼の電話が昆さんから入った。3日以内をお願いしますとの事なので、慌てて書類綴を開いてみたところ、本号には歯学部関係者の論文に加えて医学部関係者からの論文が含まれているのに気が付いた。医・歯両学部を持っている本学の利点が生かされて来たのではないだろうか。その他、本号には歯学会第13回総会の抄録や学位の審査報告が掲載されることなので、内容的にも一段と充実して来たと思われる。(佐藤)

“光陰矢のごとし”といわれますが、編集に追われた1年があっというまに過ぎ去り、暖かい春が到来しました。本誌発行の頃は盛岡の地も桜が満開に

なっていることと思いますが、開花予想では例年になく遅れそうだと事です。今年は雪のない暖かい正月でしたので、春の訪れは早いかと思いましたが、天の配剤は人間の思惑にはかわりがないようです。13巻1号から編集委員が一部交代になりました。二期の永い期間、編集に御協力頂きました坂巻公男編集委員が退任され、臨床面を補強するために後任として石橋真澄、松丸健三郎の両編集委員が選出されました。永い期間、坂巻公男編集委員には御協力を頂きお礼申し上げます。石橋真澄、松丸健三郎の両編集委員には昨年暮から既に、査読などの御苦勞を頂いております。我々編集委員の任期は残り一年ですが、会員の皆様の御協力の元に、この一年を悔いなくように頑張りたいと思っております。(名和)

岩手医科大学歯学雑誌
第13巻 第1号

昭和63年4月25日 印刷
昭和63年4月30日 発行

発行人 鈴木 隆

発行所 岩手医科大学歯学会
盛岡市中央通1-3-27
岩手医科大学歯学部内
振替口座 盛岡 1358
電話 0196-51-5111

印刷所 川口印刷工業株式会社
盛岡市本町通2-13-8
